

花のまち鹿骨の春、夏の花火、静かなる歴史の旅への誘い

7.1km



5 花のまち鹿骨

東京の花暦は鹿骨からといわれる、花の生産農家がたくさんあるまちです。真利子農園とおいしいプランテーションは直売もしています。



6 境内の「神鹿」



6 鹿島神社

鹿骨村の鎮守で、明治維新までは五社神明社とか五社神社とよばれていました。これは、この村の草分けであった石井長勝、田島、牧野、中代、別系の石井姓の五氏が村に住みつけた時にそれぞれが奉祀していた氏神を合祀したことから名づけられたといえます。



江戸川区花火大会会場
毎年8月の第一土曜日に開催されます。例年100万人以上が来場し、オープニングの5秒間1000発は圧巻です。



3 新堀小周辺のソメイヨシノ

静かな住宅街で、桜の回廊が楽しめます。桜の時期には華やかなまちになります。ソメイヨシノの見ごろは4月上旬～



4 鹿見塚神社

伝説の地です。昔、常陸国の鹿島大神が大和国奈良の春日へお移りになった時のこと、途中この地を通られた時、大神の杖となっていた神鹿が病気でたおれてしまい、里人はこれをしていねいに葬ってこの地に祀ったそうです。



7 浅間神社のぼり祭り

10本の幟が森の木立をこえて大空にひるがえる壮観さは関東でも珍しい祭礼といわれています。2年ごと7月に開催されます。



2 陽光桜の街路樹

以前はイチヨウの街路樹でしたが、水道耐震化工事のため撤去し、工事後地元の要望で桜に更新。歩道が狭いので、横に広がらずピンクの濃い陽光桜が植えられました。見ごろは3月下旬～



1 花の祭典(鹿骨スポーツ広場)

昭和49年(1974年)から毎年5月3・4日に開催される花の祭典は、江戸川区内の花卉園芸組合を中心に、花の即売やオークション、区内産野菜の販売などが行われます。



7 浅間神社

天慶元年(938年)の創設で、区内で最も古い神社です。天慶三年(940年)平将門の乱を鎮めるために平貞盛が将門降伏の祈願をこめ、金幣と弓矢を奉納したと伝えられています。境内は約四千坪で、多くの樹木が繁り区の保護樹も多くあります。昔から「せんげんさまの森」として親しまれています。